

国鉄 ED16 形電気機関車

1931年 国内の各メーカーで合計18輛製造した機関車

客貨両用、勾配区間に設計され、戦前の日本性国鉄ED級電機の代表的な存在

特に戦前の中央線では花形機として活躍

EF52を参考に設計されたため、同じ頃生まれたEF53やEF10第一次によく似ており軽快さと落ち着きを兼ね備えている

輸入機たちとは違い、製造当初と変わらぬ姿で晩年を迎えた口コである

